

新指定貴重書および準貴重書について

—第35回貴重書等指定委員会—

〈洋書の部〉

I 貴重書

1 リュコプロン『アレクサンドラ』(1566)

Lycophron. [*Lykophronos tou Chalkideos Alexandra.*]= *Lycophronis Chalcidensis Alexandrae, siue, Cassandrae uersiones duae*: … Basileae : Per Ioannem Oporinum, & Petrum Pernam, 1566. [16], 236, [6] p. 4Ø (20 cm) Signatures: [α]4 [β]4 ([β]4 blank), a-z4, A-F4, G6 (G6 blank) 190×130. 当館本はG6を欠く。 <WA42-84>

リュコプロンは前3世紀前半のギリシアの詩人で文法家。残存する作品のうち唯一全体が残っているのが『アレクサンドラ』である。同書の最初の校閲本は1513年、ヴェネツィアでAldo Manuzio (c.1450-1515)により合集として出版された。単独の本としては、ギリシア語本文(Tzetzes兄弟による注解付き)とラテン語対訳(訳者Paolo Lacisio)が1546年にバーゼルでJ. Oporinusにより出版されている。本書は16世紀に行われたラテン語訳で、W. Canterの逐語訳(ギリシア語テキストとの対訳)とラテン語による注解、およびJ. Scaligerによる散文訳から成る。

2 スエトニウス『ローマ皇帝伝』または『カエサルたちの伝記』(1574)

Suetonius Tranquillus, C. …*XII. Caesares, Theod. Pulmanni Craneburgij opera & studio emendati*. … Antverpiae : Ex officina Christophori Plantini, 1574. 2 v. in 1. 8Ø (18 cm) Signatures: (Libri II) Aa-Bb8, Cc2 ([Cc2] v blank), ([Libri I]) A-V8, X4, (Libri II) a-h8. 158×95. [Libri I]のA2, A3, および[h8]を欠く。 <WA42-85>

スエトニウス(c.69~c.140)はローマ帝政期の歴史家、文人。作品の大半は散逸し、ほぼ全体が伝わっているのは「ローマ皇帝伝」のみである。同書は8巻からなる伝記集で、ユリウス・カエサルからドミティアヌスに至る計12人の元首を扱う。最初の刊本は1470年にローマで刊行され、16世紀だけでも増版を含め20点ほどが出版された。本書はPoelmann Theodor編集の本文とAquilaes Estaco(d.1581)編集の注釈書(Libri II=*De illustribus grammaticis et claris rhetoribus*)の2冊組として、1574年にアントワープのプランタン社から出版された。

3 ザクセンのアルベルト 『比の論考』 (1487)

Albertus de Saxonia. [Tractatus proportionum.] [Venice : Andreas de Pal-

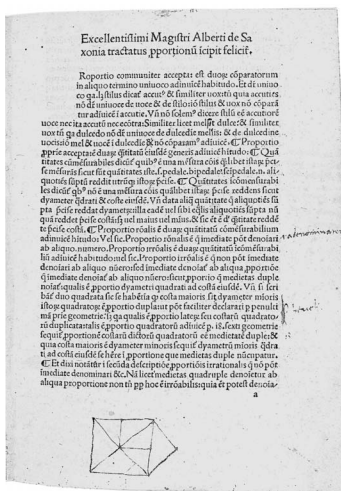
tasichis, 21 July 1487?] 10 leaves. 4

Ø (21 cm) Signatures: a6b4. Goff

A344 ; BMC V354 ; GW 790. 205×

145. Type: 109 R <WA42-86>

ザクセンのアルベルト (Albert von Sachsen, c.1316-90) は、中世のスコラ哲学者、論理学者、数学者。パリ時代の師ビュリダン (J. Buridan) のインベトゥス理論を広めたほか、T. Bradwardineの運動式を紹介した『比の論考』ほかを著した。インキュナブラとして印刷されたものとして『比の論考』のほか、*Quaestiones in Aristotelis libros de caelo et mundo* 等アリストテレスの注解書や *Sophismata* が知られている。特に『比の論考』は広く読まれた作品で、インキュナブラだけでも9点が印刷され、本書は6番目に当たる。



4 アポロニオス 『全集』 (1537)

Apollonius, of Perga. *Opera per doctissimu[m] philosophum Ioannem Baptistam*

Memum ... De Gr[ae]co in Latinum traducta & nouiter impressa.

Venetii : Per Bernardinum Bindonum, 1537. 88, [1] p. fØ (31 cm)

Signatures: a-p6 ([p6] blank) 303×208.

<WA42-87>

ペルゲのアポロニオスは前3世紀後半のギリシアの数学者。アレクサンドリアでユークリッドの後継者たちとともに学び、のちペルガモンで教えた。『円錐曲線論』(*Konikon biblia*)を書いたほか天文学の分野でも功績を残した。『円錐曲線論』は8巻からなるが、そのうちギリシア語原典が残っているのは最初の4巻のみであり、その初めてのラテン語訳が本書である。訳者 Giovanni Battista Memmo (d.1536) はヴェネツィア共和国最初の数学教授であった。

5 ヨドクス・ウィリッヒ 『検尿』 (1582)、ニコラス・モナルデス 『新大陸の葉草』

(1582)、シャルル・ドゥ・レクリュース 『芳香植物誌覚書』 (1582)、クリストバル・

アコスタ 『東インド葉草誌』 (1582)

Willich, Jodocus, 1501-1552. *Vrinarvm probationes* ... Basileae, Per Sebasti-

anvm Henricpetri, [1582] [24], 341, [1] p. 8Ø (18 cm) Signatures: a, 8,

β4, A-X8, Y4. 160×105.

Bound with following 3 works:

1. Monardes, Nicolas, c.1493-1588. *Simplicium medicamentorum ex nouo orbe delatorum*,… Antverpiae, Ex officina Christophori Plantini, 1582. 47 p. 8Ø (18 cm) Signatures: A-C 8
2. L'écluse, Charles de, 1526-1609. … *Aliquot notae in Garciae Aromatum historiam* : … Antverpia:Ex officina Christophori Plantini, 1582. 43, [5] p. 8Ø (18 cm) Signatures: A-C8
3. Acosta, Cristobal, c.1515-c.1592. … *Aromatum et medicamentorum in Orientali India nascentium liber*… Antverpiae, Ex officina Christophori Plantini, 1582. 88 p. 8Ø (18 cm) Signatures: A-E8, F4. <WA42-88>
ヨドクス・ウィリッヒ『検尿』は中世以来、診断法として論じられてきた尿の検査をまとめたもの。Hieronymus Reusner (b.1558) が編集し注解したものが本書である。

1. 『新大陸の薬草』 2. 『芳香植物誌覚書』 3. 『東インド薬草誌』はいずれもライデン大学の植物学者レクリューズが関係したテキストをプランタンが同時に出版したものである。プランタンはレクリューズの主著『イスパニア稀産植物誌』(1576)『パンノニア・オーストリア稀産植物誌』(1583)のほか、ガルシア・ドルタ『インド薬草誌 (*Coloquios dos simples* …)』のレクリューズによるラテン語訳も出版しているが、これへの覚書という形で出されたのが2. 『芳香植物誌覚書』であり、フランシス・ドレイクから得たアメリカ西海岸の植物標本や種の情報を記している。3. 『東インド薬草誌』はアコスタの原著 *Tractado de las drogas* … (1578) をレクリューズがパラフレーズしながらラテン語訳したもの。1. 『新大陸の薬草』もレクリューズの翻訳で、原著はモナルデスの *Primera, y Segunda y tercera partes de la historiamedicinal de las cosas que se traen de nuestras Indias Occidentales* … (1574)。

6 レオンハルト・フックス『植物誌』(1542)

Fuchs, Leonhart, 1501-1566. *De historia stirpium commentarii insignes*,… Basileae, In officina Isingriniana, 1542. [28], 896, [1], [1], [2]p. fØ (38 cm) Signatures: α6, β8, A-Z6, a-z6, aa-zz6, aaa-fff6. 362×225.

<WA44-12>

レオンハルト・フックスは16世紀ドイツの医学者。1535年から没するまでチュービンゲン大学の医学教授を務めた。数多くの医学関係の著作があるが、植物学の分野でも本書によって大きな業績を残した。出版者の Michael Isingrin (1500-57) はバーゼルの印刷業者で、約80点の本を出版した。本書には約400種のドイツ原産の植物と100種の外国産の植物が掲載されている。約40種は初出でトウモロコシなどアメリカ原産

の植物も5種収められている。図版は空想や転写によらず実際の植物を基に製作されている。植物図のほかに、著者フックスの肖像や、図版製作に携わった3人の画工(A-lbrecht Meyer、Heinrich Fullmaurer、Viet Rudolf Speckle)の肖像が見られる。

7 ピエトロ・マルティレ・ダンギエラ他原著、リチャード・イーデン訳、リチャード・ウィリス増補改訂『インド及びアジア諸国旅行史』(1577)

Anghiera, Pietro Martire d', 1456/7-1526. *The history of traouayle in the West and East Indies, and other countreys* ... Imprinted at London by Richarde Iugge, 1577. [10], 466, [6] l. 4Ø (20 cm) Signatures: (.)4, [fleuron]6, A-B4, C-3O8. Cordier 71. 188×120. <WA41-87>

リチャード・イーデン(1521?-76)は翻訳家で、イギリス人としては初めて体系的に航海や探検の記録を収集・編纂したことで知られている。本書は1555年に刊行された*The decades of the newe worlde*…(スペインの旅行記をイーデンが編集・英訳したもの)を1577年にリチャード・ウィリス(fl.1558-73)が増補再版したものである。本書には中国などアジアに関する記録が含まれているが、これはウィリスが新規に追加した部分であり、初めて日本のことを英語で紹介した出版物と見なされている。出版者のRichard Jugge(c.1514-1577)は、エリザベス1世の下でroyal printerを務めた印刷業者。1548年頃から印刷業を営み、約70の書物を印刷した。

II 準貴重書

8 ジョン・グールド『アジアの鳥』(1850-83)

Gould, John, 1804-1881. *The birds of Asia*. London: Printed by Taylor and Francis, published by the author, 1850-83. 7 v. 530 col. pl. Imp.fØ (56 cm) Publied in 35 parts, of which the last three were issued after Gould's death by R. Bowdler Sharpe. 545×365. <WB31-28>

ジョン・グールドは『ヨーロッパの鳥』(1832-37)、『オーストラリアの鳥』(1840-48)のような鳥類図譜のほか『ビートル号航海の動物学』(1838-41)等の学術書でも有名な鳥類学者・画家。図版を石版印刷に手彩色という方法で作成し、大型の図版だけで総計3,000枚に上る。『アジアの鳥』は1850年1月の第1分冊の刊行から1883年8月の第35分冊の刊行まで年1冊のペースで頒布された。全部で530種のアジアの鳥の図版と博物学的解説からなる。原画を担当したのはグールド本人のほか、W. Hart、H. C. Richter、J. Wolfといった人達であり、印刷を担当したのはHullmandel & Walton、T. Walter、Walter & Cohnという工房である。印刷部数は207部。

(貴重書等指定委員会)

*和漢書の部、新聞・雑誌の部は、それぞれ5頁、11頁から始まる。